

# 町長退任のごあいさつ

## 略歴

昭和20年(1945年)生まれ、81歳。有田川町(旧吉備町)出身。  
 平成14年(2002年) 旧吉備町長初当選  
 平成18年(2006年) 有田川町長初当選(5期20年)  
 以降、有田郡町村会会長、和歌山県町村会会長、  
 近畿ブロック府県町村会会長を歴任。  
 令和4年(2022年) 総務大臣表彰(町村長20年以上)  
 令和8年(2026年) 有田川町長退任



中山 正隆

この度、2月4日の任期満了をもちまして、有田川町長を退任することとなりました。平成14年(2002年)4月に旧吉備町長に当選し、平成18年(2006年)有田川町発足以来5期20年の長きにわたり町長という重責を担うことができました。これもひとえに、多くの町民の皆さまからの温かいご支援とご協力のおかげであると心より感謝申し上げます。

町長就任後の24年間は、少子高齢化社会の到来、平成の市町村大合併、新型コロナウイルス感染症のまん延など、社会・経済構造とともに地方を取り巻く環境も大きく変化した時代でありました。そのような中で、財政の健全化、防災、産業の振興、教育・福祉の充実など、有田川町が抱えるさまざまな課題と向き合いながら、町民の皆さまの安心・安全な暮らしを守り、町の均衡ある発展を実現するため、町長として精いっぱい取り組んでまいりました。

改めて振り返りますと、公共下水道事業、地域交流センター(ALEC)や藤並駅、役場金屋庁舎、しみず温泉やあさざり、各保育所や

小中学校の新改築、鏡石トンネルをはじめとする県道・国道の整備促進などといったインフラ整備を進めてまいりました。また、子ども医療費の無償化、学童保育の拡充といった子育て環境の充実や、旧田殿保育所、しろにしなどの拠点施設を活かした住民主体の町づくりにも励んでまいりました。これらのさまざまな施策が着実に実を結び、次世代につなぐ町づくりの道筋をつけることができたと感じております。

今後は一町民として有田川町を見守り、また、微力ではございますが町のために尽力していきたいと思っております。

終わりに、有田川町の今後のますますの発展と町民の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。長い退任のあいさつといたします。長い間、誠にありがとうございました。

有田川町長  
中山 正隆



令和6年(2024年)しみず温泉竣工式



平成25年(2013年)有田みかんナイター



平成18年(2006年)初登庁



令和8年(2026年)鏡石トンネル開通を祝う会



平成29年(2017年)出初式



平成20年(2008年)藤並駅新駅舎竣工式